

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI会長/ステファニー・アーチック
RI.D2590ガバナー/長戸はるみ
横浜旭RC会長/北澤 正浩

ガールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33/〒241-0836
TEL.080-1215-6668/FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3/4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日/12時30分～1時30分

2024年12月4日 第2563回例会 VOL.56 No.16

■司会 SAA 関口 大樹

■開会点鐘 会長 北澤 正浩

■出席報告

会員数	21名	本日の出席数	13名
本日の出席率	68.42%	修正出席率	50.00%

■本日の欠席者

日向、草柳、中谷、二宮、関澤、宋

■オンライン出席 佐藤（真）

■誕生日祝

五十嵐会員

12.20

目黒 会員

12.18

岡田 会員

12.20



■地区長寿会員表彰 佐藤利明会員



■会長報告

北澤 正浩

皆さま、こんにちは。

12月に入り、寒さが本格化する時期となり

ましたが、本日は季節外れの暖かさに恵まれました。来週以降は例年通りの寒さが戻るようですので、どうぞ防寒対策を万全にし、体調管理には十分ご注意ください。

さて、今月は当クラブにとって今年度最大の重点イベントである講演会が14日(土)に開催されます。この講演会は、私たちのクラブが掲げる目標を形にする重要な機会です。年末で何かとお忙しい時期ではありますが、成功を逃してしまうことは、当クラブの成果を一つ失うことに繋がりがねません。私たちは、ロータリークラブの一員として成果を示すことで、その存在意義をより強くする責務があります。このプロジェクトはクラブ全員で決めたものですので、ぜひともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、同日の夜にはクリスマス例会も予定しております。田川会員を中心に多くの方々が準備に尽力してくださっています。この例会が楽しいひとときとなるよう、皆さまのご協力をいただけますと幸いです。

年末を迎えるこの時期、忙しい中での活動となりますが、皆さまの温かいご支援とご参加がクラブの力となります。どうぞよろしく願い申し上げます。

■年次総会 議長 北澤 正浩
横浜旭ロータリークラブ定款第8条第2節及び細則第5条第1節の規定に基づき年次総会を開催させていただきます。

クラブ細則第4条第1節の規定に基づき議長を務めさせていただきます。

▷出席委員会

「本日の出席報告をお願い致します。」

「会員総数21名、本日の出席者数13名」

クラブ細則第1条の4の規定により会員総数の3分の1の定足数を満たしていますので、年次総会は成立しました。

▷審議議案事項

「次期役員と理事の選任の件を審議並びに採決をお願い致します。」

(理事候補者名)

五十嵐正、北澤正浩、福村 正、岡田 隆、安藤公一、新川 尚、関口大樹、目黒恵一、佐藤 勉、以上9名です。

クラブ細則第7条の規定に基づき「同意、採決(挙手)をお願い致します。」

採決(挙手)の結果、出席会員の3分の2以上の賛成を得られたものと認められ、本議案は可決、承認されました。

慎重審議をいただきまして、有難う御座いました。これを持ちまして、議長の職を辞させていただきます。

■三か年 project 五十嵐 正

いよいよ14日(土)の講演会が近づいて参りました。当日は会場の神奈川近代文学館に13時にお集まりください。その時点で、役割分担と当日のスケジュールの確認を行います。ご協力をお願いします。

■親睦委員会 田川 富男

14日講演会の後、18時よりクリスマス会を開催します。係の方は17時に会場にお集まりください。よろしくお願いいたします。

■ニコニコBOX

北澤 正浩/福村会員の卓話、楽しみにしてお

ります。今月14日に開催される講演会とクリスマス例会の出席をお願いいたします。

福村 正/疾病予防と治療フォーラム担当させていただきます。宜しくお願いします。久しぶりのリアルです。

佐藤 利明/ご無沙汰して申し訳ありません。福村先生卓話よろしく申し上げます。

安藤 公一/①福村さん卓話よろしく申し上げます。②12/1に行われた関東大学ラグビー対抗戦の早明戦で何とか早稲田が勝つことが出来ました。皆様の応援に感謝致します。

新川 尚/福村さん、卓話宜しくお願いします。

関口 大樹/福村さん、本日の卓話よろしく申し上げます。

目黒 恵一/①福村先生卓話よろしくお願い致します。②お誕生日祝をいただきありがとうございます。70歳になりました。(古希です)

中島 徹/先日は素晴らしい歓迎会をありがとうございました。

市川 慎二/福村さん卓話楽しみにしています。

佐藤 勉/福村先生本日のフォーラムよろしく申し上げます。楽しみです。

■フォーラム 疾病予防と治療 福村 正
(Disease Prevention and Treatment Month)

2014年10月RI理事会は、重点分野である「疾病予防と治療月間」である12月を、地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾病の蔓延を防止することを目的とした、地域住民への教育と地域動員、疾病またはケガによって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間としました。

各地のロータリークラブが地元のニーズに応じた独自の活動を行っている一方、ロータリー



は世界全体で重点分野を定め、できるだけ大きな活動成果をもたらすべくグローバル補助金をはじめとするリソースを提供し、各分野の活動を重点的に支援しています。ロータリーの重点分野の一つである、疾病予防と治療には、予防接種の研究から、きれいな飲み水の確保、衛生設備の整備など、さまざまな取り組みがあります。

「疾病予防と治療」では、発展途上国で多くの人びとが質の高い医療を低コストまたは無料で受けられるよう、支援活動を行っています。高額な医療費のために毎年1億人以上が貧困に陥っている中、ロータリーは主な感染症（ポリオ、HIV／エイズ、マラリアなど）について正しい知識を広め、病気の予防・治療を支援しています。医療関係者のスキル向上を助けるのも、そうした活動の一環です。具体例としては低コストの医療を提供するロータリープロジェクト。ポリオのない世界、それはロータリーの最優先目標です。しかし、ロータリーの会員はそれ以外にも、発展途上国やHIV／エイズに苦しんでいる地域で保健キャンプや研修施設を設置したり、お金がないために医療を受けられない人びと（世界人口の6人に1人）のために、医師、看護師、政府機関、協力団体が利用する設備や体制を整備したりしています。

また、きれいな水と衛生設備を持続的に提供するためのロータリープロジェクト。世界には、十分な衛生施設を利用できない人びとが25億人以上います。また、汚染された水で下痢疾患を患い、命を落とす子どもたちが毎日3,000人

いると言われています。「水と衛生」では、地域社会が長期的に水を確保し、衛生施設を維持できるよう支援するほか、水と衛生に関連する研究支援・人材育成にも力を入れています。きれいな水は、人間の基本的ニーズの一つです。特に子供たちが、より健康で、実りある生活を送ることを可能にします。ところが今、世界で毎日3,000人の子どもたちが、汚染された水を飲んで命を落としています。このためロータリーは、井戸を掘ったり、雨水貯蔵システムを設置したりするだけでなく、それらの設備を維持する方法を地域の人たちに教えてきました。飲み水がないために亡くなる人は少ない一方、汚染された水を飲むことによって、予防可能な病気にかかる人は数百万人に上るため、ロータリーは発展途上国で、衛生設備の整備にも取り組んでいます。下水や汚水タンクとつながった水洗トイレを提供すると同時に、手洗いやそのほかの衛生習慣を推進しています。

国際ロータリーの活動の目的は平和の実現です。そのために疾病予防と治療、青少年育成、地域社会の経済発展等ロータリーの7つの重点分野への奉仕活動を展開し支援しています。12月はロータリーの重点分野の一つである『疾病予防と治療月間』です。日本のロータリーは海外のロータリークラブと協力して発展途上国への飲料水の供給や母子の健康等幅広い分野で支援を行っていますが私たちロータリアン一人一人が自身の健康についても考えていただく月間にすることも大切です。

誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人と言われています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると、私たちは信じています。世界で数百万人が病気によって苦しみ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センターや研修施設の設営、医師

と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は、人びとがより良い医療を利用できるよう支援しています。マラリア、HIV／エイズ、アルツハイマー、多発性硬化症、糖尿病、ポリオなど、人びとを苦しめる病気の予防・治療や患者の支援、衛生教育のほか、無料の定期健康診断や眼科・歯科検診も行っています。

「淡水保全のためのコミュニティアクション」(Community Action for Fresh Water) ロータリーによる活動できれいな水の提供を通じガーナでは、他団体と協力して国内全人口の80%以上にきれいな水を提供し水系感染症を予防しています。HIV感染の減少のためリベリアでは、妊娠初期の女性たちへのHIV検査を支援しています。2年間でHIVの母子感染を95%減らすことをめざして、出産前ケアを推進しています。

ポリオ根絶にむけて。国際ロータリーは30年以上にわたり、ポリオ(小児まひ)を世界から根絶する取り組みを行っています。1979年、フィリピンで600万人の子どもを対象に実施したワクチン投与活動がきっかけとなり、世界的なポリオ根絶活動へと発展しました。今日、野生型ポリオウイルスの常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国を残すのみとなっています。国際ロータリーのポリオ(小児まひ)を世界から根絶する活動によりほぼすべての国からポリオがなくなっただけでなく、エボラ出血熱などのほかの疾病の追跡システムにも活用できるインフラが構築されました。ポリオ根絶の実現まであと少しです。疾病予防と治療のためにこれまでロータリーが授与した補助金は6500万ドル。1985年にロータリーがポリオ根絶活動を立ち上げて以来の発症数の減少率は99.9%にまでなっています。

メンタルヘルスへの取り組み。感情的・心理的な幸福は身体的な健康と同じくらい重要です。ロータリーは、メンタルヘルスを率直に話し合

うことへの偏見の解消、メンタルヘルスのニーズに対する意識の向上、メンタルヘルスと心理的な幸福のためのサービスへのアクセスの向上に焦点を当てたプロジェクトを優先しています。

女兒のエンパワメント。ロータリーは、世界中の女兒の健康、教育、福祉、経済的安定の向上に焦点を当てたプロジェクトを優先しています。若者と青少年プログラム参加者の安全と福利は、ロータリーの最優先事項です。ロータリーでは、青少年プログラムに参加するクラブや地区が確実に青少年保護方針を実施し、虐待やハラスメントを防ぐために行動できるよう、包括的なリソースを提供しています。

私たちの日本は幸いなことに保健医療制度が発達し、健康のためのインフラも整備されています。しかし世界に目を転じますと、基本医療すら受けることのできない人々は4億人ともなわれています。うち数百万人が病気で苦しみ、貧困を強いられている状況です。ロータリークラブが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、まさにこのためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に仮設クリニックや献血センター、研修施設を作ったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計したり、ロータリアンは世界中で人々がより良い医療を享受できるよう支援を行っています。また施設だけではなく、医療従事者への研修、病気や衛生習慣に対する市民への啓発や指導なども含め、世界で毎日数百ものプロジェクトを実施しています。そしてこれらのプロジェクトや活動に補助金を提供しながら、疾病の予防と治療を支援しているのがロータリー財団です。

今日本は歴史上類を見ない高齢化が進行しています。年齢を重ねるだけではなく、いかに健康年齢を高めるかが大きな課題です。ロータリーにおける奉仕の精神をもって地域活動を進められればと願うところです。